

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら綱島

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3	2	4	予約の段階で、子供の組み合わせを考え、スペースが確保できるよう人数の調整を行っていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2	2	送迎で人員を割かれ、一時的に配置不足となるので部屋割などでカバー。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	2	7	建物の構造上改善は難しい(壁がむき出し。階段が急。トイレ前に段差がある)マンパワーで補っていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	7	1	1	支援計画やモニタリングに職員全員が参加できるよう努めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	ニーズが多様化しているため、対応可否も含めての対応が必要。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	1	保護者が閲覧できるように、目の付きやすいところに掲示している。ホームページでも掲載している。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	3	第三者評価については、現在のところ行ってない。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	4	4	1	内部研修、外部研修共に機会が少ないため、今後スタジオ内での研修を随時行っていけるように努めていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	2	基準が統一化されておらず曖昧。現在会社全体で統一化を進めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	3	基準が統一化されておらず曖昧。現在会社全体で統一化を進めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0	朝礼や昼礼等で、当日行うプログラム内容を全体で共有していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	必要な運動量と提供場所のサイズが合わない際には運動メニューでカバー。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	3	1	複数の会員が同じ空間で活動する機会が増えるので、順番や難易度設定などを考慮する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	個別や集団に特化した課題を設定した場合、それぞれの機会を部屋割などで確保する。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	朝礼、昼礼、終礼にて実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	0	0	昼礼、終礼にて実施。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	記録を読んで次の療育で引き継げる記録の書き方が必要。
⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	対象児を見ていないスタッフも含め、全員参加。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	0	0	会員によって取り組みに偏りもあるので、導入法を常に検討し基本活動をバランスよく実施。	

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら綱島

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	会議内容を正確に持ち帰り、共有することが必要。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	8	1	0	必要に応じて対応。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	4	0	重症心身障害のお子さんの受け入れがないため、回答出来ず。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	3	必要に応じて対応。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	7	1	現在は機会なし。今後、需要に応じて検討していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	3	お子さんのモニタリング時に定期的に情報共有を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	7	現在は機会なし。今後、需要に応じて検討していく。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	6	定期的に、管理者や児童発達管理責任者が出席している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	1	日々のフィードバック以外でも積極的にコミュニケーションを図っていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	4	2	3	現在プログラムとしての実施はなし。今後、需要に応じて検討していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	入会時に全て説明。お問い合わせなどにも適宜対応。
	㉛	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	適宜対応。内容によっては持ち帰り、精査した上で対応する。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	6	今年度は保護者会の実施はなし。需要があれば今後検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	今後も引き続き、迅速且つ適切な対応ができるよう努めていく。
	㉞	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	スタジオ内掲示での発信を増やす。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	今後も引き続き注意していく。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	声量や話しの内容を場面や相手によって個々に判断するスキル。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	5	地域の行事に参加する等、今後検討していく。

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら綱島

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	各種マニュアルや訓練内容を把握しきれていない保護者様への説明が必要。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	災害時の役割などをスタッフ間で決めておく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	1	定期的に研修の機会を設ける。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	7	2	0	事故防止などの場合は事後報告となってしまうことも説明が必要。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	1	契約時に、書類の記入やヒアリングを行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	1	終礼時に共有している。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。